

2021 年度事業計画

(1) 糖尿病の予防及び治療に関する正しい知識の普及啓発事業

【市民、患者向け】

- 1-1 「糖尿病ライフさかえ」の発行
月刊の協会誌として、患者、家族、糖尿病予備群に対する糖尿病の正しい知識の情報提供と啓発を行う。
- 1-2 糖尿病関連書籍の発行
「糖尿病食事療法のための食品交換表」、「糖尿病食事療法のための食品交換表活用編」、「糖尿病性腎症の食品交換表」、「糖尿病治療の手びき」を発行する。
- 1-3 全国糖尿病週間の実施
11月8日から14日の一週間を全国糖尿病週間とし、日本糖尿病学会との共催で、各都道府県糖尿病協会と糖尿病に関する講演会、血糖測定、医療相談、栄養相談の事業を実施する。糖尿病週間の標語も公募する。
- 1-4 啓発イベントの実施
従来開催していた集客型の市民向けイベントの企画・運営方法を見直し、効果的な事業展開を検討する。
- 1-5 世界糖尿病デー関連のイベントの実施
日本糖尿病学会・本協会と構成する世界糖尿病デー実行委員会に協力し、世界糖尿病デーの認知向上と糖尿病知識の普及啓発活動を推進する。
- 1-6 Team Diabetes Japan の運営
国内外のマラソン大会等への参加を通じて、糖尿病予防や治療についての知識啓発を行う。
- 1-7 ウォークラリーの実施
運動の重要性を周知する目的で、全国でウォークラリーイベントをノボ ノルディスク ファーマ株式会社と共催する。
- 1-8 KiDS プロジェクトの展開
小児糖尿病啓発を目的に、教職員を対象とする出張教室をサノフィ株式会社と共催にて実施する。本年は1型糖尿病と並行して小児2型糖尿病の啓発にも注力する。
- 1-9 就労と治療の両立支援
就労世代への啓発として、企業・患者・医療者それぞれに働きかける事業を実施する。
- 1-10 デジタルツールによる知識の普及
療養支援 DVD シリーズやウェブサイトと新聞を連動させた情報発信の仕組み等を活用して、合併症予防の啓発を行う。
- 1-11 糖尿病関連企業 EXPERT 社員認定制度
糖尿病関連企業の社員に対する啓発として、日糖協 e ラーニングを活用した教育・認定制度を運用する。
- 1-12 地方自治体との連携
企業協力のもと、地方自治体と連携した市民向けの糖尿病啓発活動を新たに実施する。

【医療者向け】

1-13 「DM Ensemble」の発行

医療者を対象とする「糖尿病療養指導のための DM Ensemble」を4冊、療養指導学術集会を特集する増刊号を1冊発行する。

1-14 登録医・療養指導医・登録歯科医制度の展開

日本糖尿病協会登録医・療養指導医制度並びに登録歯科医制度を推進し、糖尿病専門医と非専門医、歯科医師との連携強化を図る。

1-15 日糖協 CDE ネットワークの運営

地域糖尿病療養指導士(CDEL)養成団体の活動を支援する。日本糖尿病療養指導学術集会やCDEネットワークブロック別運営連絡協議会の活動を通じて、CDEL団体の情報交換・交流の機会を提供し、CDELの質の向上と団体間のゆるやかな連携を促進する。

1-16 糖尿病カンパセーション・マップ™を活用した療養指導の普及

「糖尿病カンパセーション・マップ™」を使用して療養指導を行う医療スタッフを育成するトレーニングを、オンラインと実地の双方で展開する。

1-17 糖尿病療養指導カードシステム®を活用した療養指導の普及

療養指導カードシステムの普及に向け、動画視聴による自己学習と講習会を並行して実施する。糖尿病腎症重症化予防にあたる地方自治体でのカードシステム導入に向けて、講習制度を整備する。カードシステムの全国普及および利便性向上を促進するため、システムの電子化を含めて検討する。

1-18 日糖協 e ラーニングの運営

糖尿病教育用 e ラーニングのコンテンツを充実させ、医師、歯科医師、療養指導士、産業保健スタッフ、医薬情報担当者等に糖尿病医療の学習機会を提供する。

1-19 日本糖尿病療養指導学術集会の開催

糖尿病療養指導者の教育と情報交換を行う目的で、日本糖尿病療養指導学術集会を開催する。(7月24-25日：京都 山田祐一郎会長 テーマ：参加型の糖尿病医療) 開催方法は、社会情勢をみながら検討する。

1-20 地域での医療従事者対象啓発活動の支援

登録医・療養指導医・登録歯科医・CDEを対象とした講習会をはじめ、医療従事者を対象とした糖尿病に関する適正医療の普及・啓発に向けた地域での活動を支援する。

1-21 医療者・介護支援者の連携強化

糖尿病連携手帳を活用して医療者とケアマネジャー等介護支援者との情報交換を促進する。

1-22 動画資料による学習支援

医療スタッフ向けの教育DVDを活用して、チーム医療の浸透と療養指導者のスキルアップを支援する。

1-23 高齢者糖尿病対策の推進

インスリン治療の実態や高齢者糖尿病のガイドラインの浸透率、頻回注射等々の様々な調査、提言を行い、学会での報告ならびに学術誌に論文を投稿する。

(2) 糖尿病の予防及び治療に関する調査・研究事業

2-1 調査研究

- ・経口糖尿病治療薬(インクレチン関連薬を含む)投与に関する実態調査研究(UNITE Study) 学術誌に論文を投稿する。
- ・インスリン製剤とシタグリプチン併用による有用性の検討-前向き観察研究-(I-UNITE Study) データ解析を行い、学会での報告ならびに学術誌に論文を投稿する。
- ・トログリフロジンの安全性および有効性の検討-前向き観察研究-(AYUMI) データ解析を行い、学会での報告ならびに学術誌に論文を投稿する。

2-2 研究助成

- ・糖尿病医療・療養指導に関わる若手を育成することを目的に、臨床的・基礎的な研究を行う若手研究者を対象として、若手研究者助成を実施する。
- ・メディカルスタッフによる研究実施を支援し育成を図るとともに、糖尿病療養指導をテーマにしたエビデンスを創出することを目的に、療養指導に従事するコメディカルスタッフを対象として、メディカルスタッフ育成研究助成を実施する。
- ・高齢者の糖尿病医療に関するエビデンスを創出し健康寿命を延ばすことを目的に、他施設研究も含む臨床研究助成を実施する。

2-3 就労世代のインスリン治療実態調査

就労世代を対象とするインスリン治療の実態把握のための調査を行い、インスリン治療を行う就労者の両立支援策を検討する。

2-4 「人を対象とする医学研究」の倫理審査

糖尿病療養指導のエビデンス作成に向けたメディカルスタッフの研究実施環境の整備として、糖尿病に関する研究の倫理審査を行う。

(3) 糖尿病の患者及び家族に対する療養支援事業

3-1 糖尿病友の会の活動支援

全国の糖尿病友の会の活動を活性化するための施策を実施し、会員の療養生活や会員相互の交流を支援する。また、友の会活動を核として地域の糖尿病対策に貢献できる人材育成を目指す。

3-2 糖尿病療養に役立つグッズ、冊子類の発行

- ・糖尿病連携手帳の普及を促進する。使用を促進する資材も作成する。
- ・自己管理ノートを改訂する。CSII ノート、ID カード、自己管理応援シール等の一層の利用拡大を目指す。
- ・食事療法を平易に解説した冊子シリーズ「糖尿病食事療法のあいうえお」「糖尿病腎症の食事療法のかきくけこ」を発行する。

3-3 小児糖尿病対策

- ・小児糖尿病キャンプの主催

糖尿病患児の医療教育を目的とするオンラインキャンプ「小児糖尿病バーチャルキャンプ」を実施する。この事業は、Tooth Fairy（日本財団・日本歯科医師会）の支援を受けて実施する。各地域での小児糖尿病患児の療育支援を目的とする小規模イベントを支援する。

- ・1型糖尿病に関する移行期委員会への協力

日本小児内分泌学会・日本糖尿病学会・日本糖尿病協会合同の移行期委員会に委員を派遣し、

移行期医療チェックリストの普及やコーディネーター制度の運用を支援する。

- ・次世代リーダー育成

各地で活躍する若手の1型糖尿病患者を次代の日糖協活動の担い手として育成するための教育研修会を開催する。

- ・小児糖尿病バーチャルキャンプへの2型患児の参加拡大を目指す。

- ・オンラインを活用した親子向け啓発活動を行う。

3-4 インスリンメンターの活用

インスリン治療を行う患者にピアサポートを行うインスリンメンターを、小児糖尿病関連事業に派遣する。また、各種学会や教職員向け研修会等にも派遣し、小児糖尿病の啓発を行う。

(4) 糖尿病に関する海外関係団体との連携事業

4-1 IDF、IDF-WPR

- ・7月16-17日に開催予定の13th IDF-WPR Congress（中国・上海）に参加し、WPR Council Meeting に出席するほか、日本の糖尿病対策と日糖協活動を紹介する。

4-2 AASD

- ・運営助成金を支出するとともに、事務局業務、年次学術集会（12th/13th AASD Scientific Meeting）の支援を行う。

- ・AASDが実施するアジア地域のフットケア・栄養プロジェクト等の開催協力を行う。

4-3 中央アジアプロジェクト

中央アジア地域の糖尿病医療支援の目的で、同地域の若手研究者の日本への留学支援を行う。

(5) その他本協会の目的を達成するために必要な事業

5-1 会員増強

友の会会員、個人会員の属性やニーズを分析し、それぞれにあった入会促進策を実施する。

5-2 都道府県糖尿病協会の運営支援

地域の糖尿病対策の充実および会員増強を目指し、47都道府県糖尿病協会に対し地域活動費を支出するほか、糖尿病啓発、療養支援に役立つ資材を提供する。

5-3 サポーター制度の周知

小児糖尿病と国際支援事業のサポートを目的とする、個人の賛助会員であるサポーターの増加を目指す。

5-4 他団体との連携

- ・CDEJ および CDEL

各地の「地域糖尿病療養指導士」(CDEL) 養成団体の活動を支援するため、補助金を支出するほか、CDE ネットワークブロック別運営連絡協議会を通じてゆるやかな連携を促進する。

- ・日本歯科医師会

日本歯科医師会と連携して医科歯科連携を促進する。e ラーニングによる学習機会を拡充することにより、登録歯科医の登録・更新増を目指す。

- ・日本糖尿病対策推進会議

日本糖尿病対策推進会議の幹事団体として、推進会議加盟の各団体と連携して糖尿病性腎症重症化予防など、国内の糖尿病対策事業を実施する。

5-5 災害時危機管理対策

- ・糖尿病医療支援チーム（DiaMAT）育成

日本糖尿病学会と連携して、災害時に連携可能なブロックごとの医療者の人材育成とネットワーク化を推進する。

- ・防災資材の配布

災害時に役立つ情報をコンパクトにまとめた防災資材を HP で提供し、糖尿病連携手帳と組み合わせでの普及を推進する。

5-6 広報事業

- ・日糖協の認知度を向上させ事業効果を高める目的で、プレスリリース配信等マスメディアに対する広報活動を行う。

- ・ホームページ、facebook、メールマガジンでの情報発信

糖尿病の正しい知識、協会事業、入会の案内等の情報を掲載し、日本糖尿病協会の認知度向上を目指す。

5-7 糖尿病医薬品・医療機器等適正化

インスリン注入器や、血糖自己測定器等の医療機器の適正使用に向けた啓発活動を行う。

5-8 製薬・医療機器・その他企業との連携

- ・各企業が企画する市民向け啓発事業の監修、共催、後援等を通じて、正しい知識を啓発する。
- ・各企業が患者向けに制作する情報提供資材の事前検証を行い、偏りのない正しい知識の普及を目指す。

5-9 アドボカシー事業

糖尿病患者が直面する社会的障壁を払しょくし、糖尿病を持っていても社会で活躍できる環境づくりを目指して、調査研究、広報活動を行う。

5-10 60周年事業

- ・アドボカシー活動に関するシンポジウム等を実施する。
- ・社会の変化に対応し、継続的に成長する団体となることを目指し、現在の組織・事業・財務の見直しと発展に向けた改革を行う。

その他

その他当協会の目的を果たすために必要な事業を、理事会の承認のもと実施することとする。